

日本語教育実践アプローチⅠ

科目ナンバリング JLE-301
選択 2単位

日野 純子

1. 授業の概要(ねらい)

このクラスではこれまで日本語教員養成課程で学んできた多様な背景とニーズを持つ日本語を母語としない人たちに
対してどんな支援について振り返り、将来、自分が遭遇するであろう人々への具体的な支援方法を、実践を通して身につ
けていきます。各自が具体的な相手を想定して、教案を書き、模擬授業を行い、振り返るというサイクルを体験してもらいま
す。その中で、グループのメンバーと協働して作業することの大切さや、相手に配慮することの意味を体感し、日本語教
員としての根幹となる態度や考え方を身につけていきましょう。

2. 授業の到達目標

- (1)多様な背景とニーズをもつ日本語を母語としない人々にして、対等な立場で支援ができるための態度やスキルを
身につける。
- (2)(1)のような人々への具体的な支援方法を考えられるようになる。
- (3)教案を書いて模擬授業を行い、グループで振り返るなかで、協働作業や相手への配慮、態度などを身につけていく。

3. 成績評価の方法および基準

- (1)平常点(授業への参加、ワークシート、教案、模擬授業への取り組み):50%
- (2)最終テスト、模擬授業(2~3回):50%

正当な理由なく5回以上欠席した学生には、単位を与えられません

4. 教科書・参考文献

教科書

特に指定しない

5. 準備学修の内容

このクラスでは、教員による講義だけでなく、ペアやグループでの話し合いや個人での作業をしながら学んでいきます。
特に模擬授業を行い、その振り返りの際に、お互いの授業展開について建設的に意見を交わし、次回の模擬授業に生かす
事ができるよう、積極的な姿勢が求められます。模擬授業や教案の課題に取り組むため、クラス以外での準備も求められ
ます。

6. その他履修上の注意事項

- (1)各自、真摯な態度で授業や課題にのぞみましょう。
- (2)遅刻、早退、欠席は避けましょう。
- (3)第1回目の授業には、必ず出席してください。
- (4)グループやペアでの作業には、相手を尊重しつつ積極的に参加しましょう。
- (5)大学での学びは、教員から一方的に与えられるものではありません。一人一人が他者に配慮をしながら、積極的に
授業に参加することでよいクラスになり、みなさんの学びと成長につながります。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 日本語教師として必要なこと
- 【第3回】 初学者を教えてみよう
- 【第4回】 授業の準備1 相手を知る・教材を準備する
- 【第5回】 授業を行う2 授業の流れ 導入の大切さ
- 【第6回】 授業を行う3 練習のしかた
- 【第7回】 初級指導のポイント1 文法の導入
- 【第8回】 初級指導のポイント2 授業の展開
- 【第9回】 実際の授業を見る1 ビデオ・動画
- 【第10回】 模擬授業の準備・教案の書き方
- 【第11回】 模擬授業1と振り返り 子ども対象
- 【第12回】 模擬授業2と振り返り 大人対象
- 【第13回】 模擬授業3と振り返り その他の人対象
- 【第14回】 全員による模擬授業の振り返りと教案の改善
- 【第15回】 振り返りと最終テスト